

雪印が
お求めする

青刈用 レープ（豊産C.O）の解説

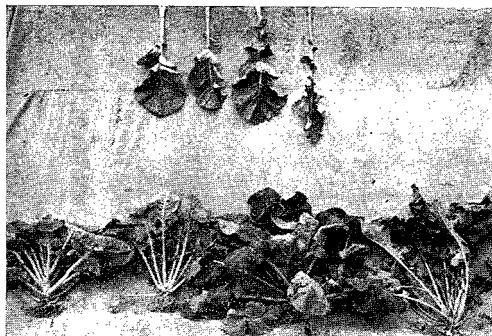
青刈用 レープ（豊産C.O）

(一) 育成の目的

レープは早春または晚秋の青刈飼料として重要な作物であるが、その葉が雄大で葉数多く、晚抽性で利用期間の長い、且つ収量の多い耐寒性品種を育成しようとした。

(二) 育成経過

豊産C.Oは昭和二十八年東京教育大学教授、細田博士より、四月白菜（♀）×サ



写真左から C.O.、普通レープ、豊産 C.O.、ハンブルグ 1号

クセッショソ甘藍（♂）の種間雑種（合成ナタネ）の初期世代種子をいただき、弊社上野幌育種場において優良個体の選抜と、そ

れら個体間の交雑を行ない、この操作を繰り返して形質の統一をはかり、耐寒性に富んだ多収品種として発表したものである。

しかし、その後C.O.の多収性は主として種間雑種初期世代における雑種強勢によるものと判明したので、この豊産C.O.についても雑種強勢が強くあらわれるための育種を目下継続中で、よりすぐれた優良品種を育成しようとしている。

レープの品種特性概要表

秋まき＝九州農試（昭三六）、上野幌育種場（昭三三）

品種名	歩合	
	越冬	翌年
C.O.	八二	一八
豊産C.O.	八三	一七
ハンブルグ	八三	一七
農林一四号	八五	一五
草丈	八五	一五
葉長	八六	一九
葉幅	八六	一九
主茎	八七	一九
葉數	八七	一九
肥料	八七	一九
乾燥地	八七	一九
施肥量	八七	一九
播種月日	九月四日	九月一日
發芽月日	一月七日	一月三日
備考	九州農試	上野幌育種場

品種名	歩合	
	抽薹始	開花始
豊産C.O.	七一	七一
小岩井レープ	七一	七一
ハンブルグ	七一	七一
農林二〇号	七一	七一
草丈	七二	七二
葉長	七三	七三
葉幅	七三	七三
主茎	七三	七三
葉數	七三	七三
生草（収量）	七三	七三
播種月日	五月一日	四月二二日
發芽月日	五月九日	四月二八日
備考	昭三四	昭三三

安二五、過石三〇、塩加一二キロくらい。
○キロを三倍にうすめて施すこと。
翌春に硫安、塩加を追肥または牛糞五〇
キロを撒く。
播種 寒冷地では八月下旬～九月上旬、暖
地では九月中～一〇月中旬。また春まき
及び夏まきでも良い。



写真 レープ（豊産C.O.）の初期生育状況

(三) 特性概要

豊産C.O.の形態は、普通のC.O.とほぼ同様で洋種ナタネに類似しているが、洋種ナタネのハンブルグ一号に比して葉色が淡緑色を呈し葉縁の欠刻が少ない。葉は大型で葉数多く、青刈収量は多く、耐寒性もすぐれている。耐暑性も強く春まき栽培においても旺盛に繁茂し、秋まきの場合に劣らないくらい多収をあげることができる。

(四) 栽培上の注意

特に豊産C.O.のみについての注意事項はないので、レープ栽培的一般的な注意点をあげると、

適地 埴質で保水力のある土壤が最適で乾燥地よりもやや湿润な土地の方がよい。

肥料 吸肥力の強い作物であるから、肥沃地と瘠地とでは収量が著しく異なり、

沃地と瘠地とでは収量が著しく異なり、施肥量は一〇kg当り堆肥二、〇〇〇、硫